

(1) 身体・健康

(1) - 1 薬関係は把握していますか？

<毎食後>  
アレピアチン散 10% 1.5g 坑てんかん剤  
ハイセレニン細粒 40% 2.25 グラム 坑てんかん剤  
酸化マグネシウム 1.5g 緩下剤  
  
<眼前>  
ラクソベロン液 11 滴 (排便の状況で変更。園長と要相談)

(1) - 2 食欲はありますか？

食欲が落ちたときは、口内炎を心配してみる。口内炎の場合はケナログ使用。帰省の間隔が遠のいて、ホームシックになっていることもあり、母親の事を話したり、お家に電話をしてみる。また、食欲のない時には、好物の菓子パンやおはぎなどの甘いものやジュースなどを準備し食べてもらう。

(1) - 3 マイナスイオン毛布、枕を使用していますか？

マイナスイオンの掛敷毛布、敷毛布は掛布団の上に重ねて敷き、掛毛布は上に着て使用している。靴下は脱いで、毛布にじかに足が当たるようにする。自律神経失調(冷え性、のぼせ)代謝機能の増進、全身健康の増進に効き目がある。真夏の暑いときは敷毛布だけ使用している。(家庭で用意してくれた高価な毛布です)

(1) - 4 便秘はしていませんか？

便秘薬を服用しています(毎食後カマ・眼前にラクソベロン)。排泄表に記入をし、把握していく。3日間排便が無かった時には4日目の夕食後に浣腸。夜間は、男性用尿取りパットをし、アダルパーをする(尿取りパットは、かぶれを防止するため女性用と同じ当て方にする。朝着替えるときにはパットをはずす。)

(1) - 5 目薬は、きちんと点眼できていますか？

H12.12.21に白内障の手術をする。(右目)医師の指示通り、目薬を点眼する。  
H19年現在、点眼薬は使用していない。

(1) - 6 アルカリイオン水を飲んでいますが？

毎日、ペットボトルに1000mlずつ用意しておき、食後やおやつに飲んでもらう。便秘対策の一つ。

(1) - 7 歯磨きはきちんとできていますか？

坑てんかん剤の副作用により、歯ぐきがはれて、弱くなっています。傷つきやすいので配慮が必要。

(1) - 8 薬はしっかりと服用していますか？

眠前での服用を嫌がるため、朝昼夕に服用している。  
また、嫌な時には指でかき出してしまう時は、どうして薬を飲んでいるのか、どういう薬なのかを本人にしっかりと話しながらかんでもらう。現在は服用時にハチミツ使用しています。

(1) - 9 車椅子を利用していますか？

余暇時には車椅子に座ったり、フロアにて横になったり、ジュウタンに座ったりと、いろいろな姿勢で過ごし、気分転換できるようにする。朝の引継ぎ後から昼食までと、昼食後から夕食までは絨毯で座椅子に座ったり横になったりして過ごす。

(1) - 10 血液検査は、定期的に行われていますか？

てんかん発作は、保護者の出入り、帰省前後、外出の未計画等、心的な原因によるものが多い。しかし、血中濃度の測定確認は忘れてはならない。

(1) - 11 痔は悪化していませんか？

痔持ちの方。便秘になったり、浣腸したりすると出血する時もある。「ボラギノール」座薬など使用し、痛み等無いか観察していく。

(1) - 13 止むを得ず身体を拘束する時に許可を得ていますか？

車椅子のベルトや入浴、便座のベルトなどの身体を拘束する時の許可を保護者に得ている。拘束の状況は毎日記録する。

## (2) 豊かな人間関係

(2) - 1 挨拶はしていますか？(出勤時、退勤時)

(2) - 2 お話をしていますか？(今日の予定、お家のことなど)

出勤時、退勤時の挨拶、お家のことなどお話しする。楽しいときには明るい表情になり、嫌な時にはきつい表情や興奮するなどして意思を伝えてくれる。見落とさないように気をつける。食事の席を離れていくときなどは、必ず声をかけて離れる。

(2) - 3 好きな歌を歌っていますか？

「お母さん」「元気に1,2、おはようさん」を歌ってあげると明るい表情になり喜んでくれる。また、険しい表情をしているときには、「お母さん なあに・・・」を歌うと表情が柔らかくなる。

(2) - 4 毎日1回一緒に室内歩行訓練をしていますか？

歩行用の靴を使用して、一緒に歩いて楽しい時間を過ごす。とても笑顔を見せてくれる。歩行用の靴下を使用して歩いても良い。本人とても楽しみにしています。

(2) - 5 クラス内での様々な出来事を本人が理解しやすいように伝達していますか？

本人は広い範囲の事に関心があるので誠意を持って伝えていく。旅行の班分け、同室の渋谷さんの帰省、帰園、行事の日程、他の保護者の来園等。

## (3) 待つことに値する楽しみ

(3) - 1 ドライブに行っていますか？

本人車内で寝てしまう事があるがドライブは好き。

(3) - 2 本人専用のカセットデッキは、いつでも聞けるようになっていますか？

車椅子にテープレコーダーをつけておく。演歌が大好きで、特に美空ひばり、島倉千代子を聞く。車椅子のポケットにテープを入れておき、曲をかえてかける。

(3) - 3 本人の大好きな甘いもの、常に用意してありますか？

おはぎ、あんぱんなどの甘いものが大好きです。また、リンゴジュースや梅ジュース、ヨーグルトも好きなため用意しておく。食欲のない時、おやつに時などに食べてもらうように、常に用意しておき、冷凍庫に保存しておく。

(3) - 4 定期的に外出に行っていますか？

本人と相談して、外食と買い物+軽食の外出計画をしていく。(刺身、鉄火丼、うどん等)洋食より和食が好き。最近ではエビフライやカツなど洋食をよく食べている。買い物への関心が広がっていく途中なので、できるだけ広い範囲をぐるぐると店を回る。電車・温泉・服やケーキの買い物も選択肢に入ってきている。

(3) - 5 お祭りに行っていますか？

花火や屋台のチョコバナナ、賑やかなお祭りが好きで、夏休みから帰園して毎年大宮神社の花火大会に行っている。また、早めにお祭りの日にちを決めてカレンダー、ボードに掲示する。決めないと寝られない。また、夜学園から花火が見えるときは本人大好きなので一緒に見るようにする。

(3) - 6 入浴後、フロアでカラオケビデオを見えていますか？

(3) - 7 実習生の予定を伝えていますか？

実習生が大好き。特に女性の実習生の来る予定を気にしている。実習生が来る時には、実習生が来る日をカレンダーに掲示する。

## (4) 主体性・自己選択・自己決定

(4) - 1 楽しく食事ができていますか？

「だよ・・・」とメニューを説明しながら、介助をする。おやつの時ビスケット、おせんべいなどはできるだけ手に持たせると自分で食べる事がある。

(4) - 2 日光浴をしていますか？

日向ぼっこが大好き。フロアや食堂の窓際、吹き抜けなどで日向ぼっこができるよう配慮する。また、車椅子に乗り音楽を聴いているときにも、足に日が当たるようにする。頭には直接、日が当たらないように配慮する。

(4) - 3 本人の好きな物を買っていますか？

担任との外出で、自分のおやつを買う機会を作っていく。また、「おもちゃが買いたい」と便秘になって教えてくれた。服やアクセサリーの買い物も選択肢に入ってきているため、本人の希望をよく確認しながら買い物の機会を作っていく。

(4) - 4 夜、本人が起きていたいときに無理に寝かせていませんか？

昼間、嬉しい事があった時や帰省が近づいた時、学園の行事が近づいた時など、本人にとって楽しい事があると、興奮して寝れないが、その時には起きていてもらってよい。無理に寝かそうとはしない。眠れないときには、お茶、ジュースなど好きな物を飲んでもらうなどの配慮をする。また、電話をして母親の声を聞く事も本人にとって嬉しい事。

## (5) 適切なコミュニケーション手段

(5) - 1 本人からのサインを見落としていませんか？

・食事の際、机を叩く・コップを投げる	「早く食事がしたい！待たせるな！」
・笑顔で車椅子を揺らす	「嬉しい事・楽しい事がある時」
・自分の耳をポンポンと叩く	「話をしてよ」特に保護者の事が多い。
・手をパチパチ、唇をプルンプルンやる、パッパッパッと言う	
居室であったとき	添い寝の要求。
・テープが止まる	手を叩いて呼ぶ。
・歩いているとき足をドンドンする	「さあよく見て。歩くよ」と言っている。
・車椅子に乗っていて、手を叩く	音楽をつけてください。それが伝わらないと、体を揺らす。
・おやつが食べたいとき、おいしいものを買ってきた時	入っているキャビネットを見つめる。
・口の中に指を入れる	外出の内容等の不満。
自傷	怒っている。伝わっていない。分かってくれない。
不眠	楽しい事や遊びが近づいている。帰省や外出が楽しみで、嬉しくて眠れない
拒食	嫌いなものばかりのメニュー。外出で他に違うものを食べに行きたい。職員に対して文句、不満がある。

印については、まだ明確ではありません。

(5) - 2 てんかん発作はありませんでしたか？

次の帰省、面会の予定が立っていないと、発作が起こりやすいが、次第にてんかん発作によって思いを伝えようとする事は少なくなり、他の伝達の仕方に移行してきている。

(5) - 3 カレンダーの表示を次の帰省日まで作成していますか？

本人が「欲しい」と言ったボードです。帰省日のほか、外出、面会、行事のシールをカレンダーに貼り、本人と相談しその内容を掲示し、楽しみに待てるようにする。また、楽しみが1つ終わるごとに次の楽しみも決めていく。横になった姿勢から見やすい場所に拡大した万国式カレンダーを次のお楽しみまで作成と同時に掲示もする。

## (6) 与えられた役割と適切な評価

### (7) 家庭とのつながり

(7) - 1 定期の帰省はできていますか？

1ヶ月に1回の帰省ができるよう、お願いしていく。帰省時には連絡ノートを使用し、家庭での様子を教えてもらう。また、学園での様子もお家にも伝えていく。家に帰るだけでなく、父母との外出（外食、買い物）で本人が好きなものを食べたり、買ってもらえたり、母の手料理を作ってもらい食べることにも楽しみにしている。

(7) - 2 家庭と職員の連絡はとれていますか？

帰省した時の本人の様子など、電話する。行事への参加もあり、兄弟の理解もあり、家庭との関係も良好。

(7) - 3 帰省の内容は、本人の希望にそっていますか？

帰省よりも、帰省中の父・母とのレストランでの外食やおやつの買い物、母の手料理が希望なので、その内容を本人と早めに決めて、ボードに掲示をし、両親に了承を得る様に電話をする。帰省の日がちがはっきりしていない時は早く決めてもらいたいという電話もする。帰省してすぐ行きたい方なので、配慮してもらえよう、家庭とお話をしていく。

確 認		
園 長	主 任	保 護 者
月 日	月 日	月 日